



ろうさい連携だより

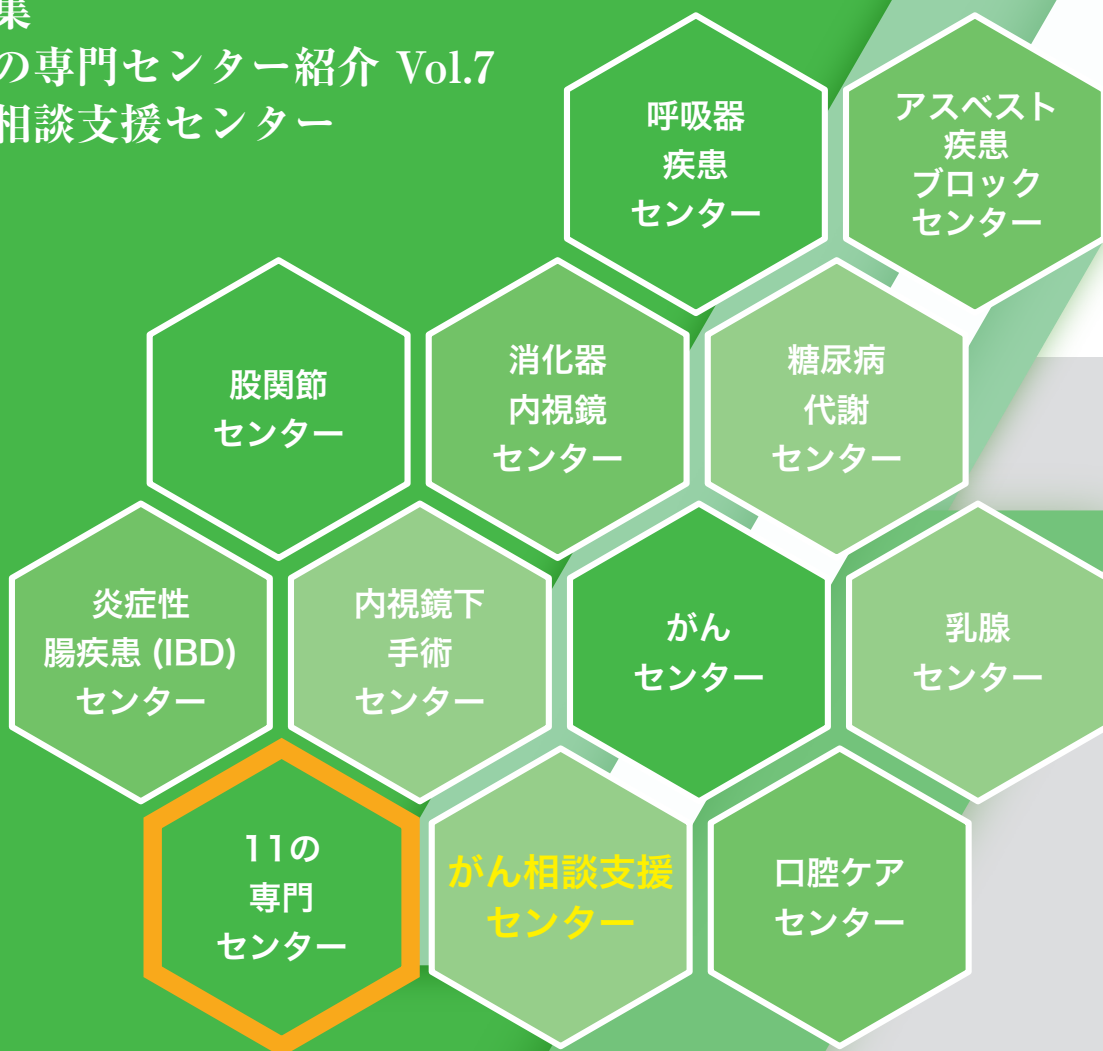
2024.1
第 42 号

病院の理念

患者さんの立場に立った、満足と納得をして頂ける医療の実践

特集

当院の専門センター紹介 Vol.7 がん相談支援センター



当院は、急性期入院加療・救急・がん診療を三本柱とした診療を登録医の先生を中心とした連携によって展開しています。

独立行政法人 労働者健康安全機構 東北労災病院

- 地域医療支援病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 災害拠点病院
- 臨床研修指定病院
- 日本医療機能評価機構認定病院

目次

- ・P1 年頭のご挨拶
- ・P2 2023年度 第1回ろうさいスマイルミーティング開催報告
- ・P3 がん相談支援センター紹介
- ・P4 クラウドファンディングのご報告
- ・P4 地域医療センターから
- ・P5 令和6年1月外来担当医表

■ ■ 年頭のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。

登録医の先生方には日頃多くの患者さんをご紹介いただき、誠に有難うございます。また、治療方針の決まった患者さんは逆紹介することで病診連携、病病連携が円滑に回っておりますことを感謝申し上げます。

当院は一昨年9月に機構本部から業務改善指導を受け、昨年4月には経営改善病院に指定されました。病院職員が一丸となって経営改善に向けて努力しているところです。具体的には救急患者受け入れを増やすことと新入院患者を増やすことの2点に力を入れています。救急患者の受け入れについては、これまで宿日直医が自分の専門外という理由で急患を断ることが多々ありました。そこで急患の受け入れ体制を強化するため、急患の主訴として頻度の高い呼吸器・循環器領域(胸痛、呼吸苦など)、消化器内科・外科領域(嘔吐、腹痛など)、運動器領域(四肢外傷)の3領域については領域別オンコール体制をとることにしました。この強化策により、救急依頼、救急応需共に飛躍的に伸びてきました。新入院患者を増やすためには、紹介患者を増やす必要があります。去年10月には4年ぶりに対面で「医療連携のつどい」を開催することができ、200名を越す参加者の方々と直接お話をすることができました。また、担当医を含むチームで登録医の先生方を訪問し、新患紹介のお願いをしています。その効果が現れるまでにはまだ時間がかかると思いますが、引き続き、患者さんの紹介をよろしくお願い申し上げます。

去年は、快適な入院、快適な看護を実現するため電動ベッドへの完全移行を目指そうという計画を立て、まずは電動ベッド20台の購入資金1200万円をクラウドファンディングで集めることにしました。10月16日から11月30日までの期間を設定しましたが、お陰様で多くの方々からご賛同いただき、期間終了を待たずに11月18日時点で目標を達成することができました。皆様からの温かいご支援に心より御礼申し上げます。クラウドファンディングで寄付を募ったのは全国32労災病院の中で初めての試みで、機構本部はこの活動を全国の労災病院に広げてゆきたいとのことでした。

本年4月から医師の働き方改革が実施されます。それに先立って当院では古い宿日直許可に基づく体制を改め、去年の7月からは平日の宿直は夜勤扱いとし、その前後に休みを取ってもらうことにしました。このシステムを導入した結果、ほとんどの医師は時間外勤務を月80時間以内に抑えることが可能になっています。当院はすべての医師が月80時間以内に入るA水準を目指していますので、引き続き努力を続けます。

最後に、懸案事項である合築・移転問題ですが、精神医療センターの移転に対する反対が極めて強いことから、県は去年8月に名取市に精神科の民間病院を公募する案を出しました。しかし有識者会議である県精神保健福祉審議会においては反対意見のため公募案の審議すら行われないうちに、12月に県は民間病院公募案を撤回し、分院を名取市に作る案(サテライト案)を提示しました。当院および機構本部としましては、どのような案であれ精神医療センターの移転に関して関係者の理解が概ね得られるまでは、合築・移転に係る基本合意を結ぶことはできないと考えております。

さまざまな問題を抱えてはおりますが、本年も当院をご支援下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。



院長 井樋 栄二

2023年度 第1回ろうさいスマイルミーティングを開催しました

乳がん看護認定看護師 穴戸 理恵

2023年11月11日(土)、当院において『ろうさいスマイルミーティング』を開催しました。

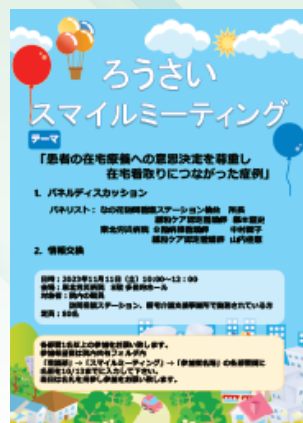
この会は患者さんが地域で安心して過ごせるよう、地域で活動する多職種の方々と交流し、情報交換しやすい関係づくりができることを目的に昨年より開催しています。今回は地域で活動している訪問看護師、ケアマネジャー、リハビリセラピストなど19名の方に参加していただき、当院スタッフ含め65名での開催となりました。

『患者の在宅療養への意思決定を尊重し在宅看取りにつながった症例』をテーマとし、パネルディスカッションを行いました。病棟看護師、緩和ケア認定看護師そして、担当していただいた訪問看護師それぞれから事例について説明していただき、意見交換を行いました。

患者の自宅で過ごしたいという意思を尊重するために家族の意思決定支援を行い、入院中にはなかった在宅看取りを選択された患者・家族の思いの変化や関わり方などを発表していただきました。当院スタッフは、訪問看護師から退院後の様子を直接伺うことができたことや、在宅チームの関わり方をお聞きし、自分達の看護を見直す貴重な機会となりました。

パネルディスカッションの後にはグループに分かれ、普段感じている疑問点や要望などについて意見交換を行いました。終始活発な意見交換が行われ、非常に有意義な時間となりました。参加者からは、「病院・在宅ともに現場の生の声が聴けて参考になった」「連携に役立つ有意義な時間だった」などという意見が多く聞かれておりました。

今回の『ろうさいスマイルミーティング』では、医療・介護・福祉の顔の見える連携が、地域で生活する患者さんやご家族のサポートにつながっていくことをあらためて実感することができました。今年度は2024年1月27日(土)に『第2回ろうさいスマイルミーティング』を開催いたします。テーマは「在宅療養を推進するための取り組み ～薬物治療を継続するための多職種連携について～」とし、薬剤管理の課題について意見交換をしたいと思います。今後も『ろうさいスマイルミーティング』を開催し、顔の見える関係づくりに取り組んで参ります。



パネルディスカッション

事例を振り返りながら、それぞれの役割やもっと工夫すれば良かったことなど意見交換を通じて学びを深めることができました。



グループワーク

病院看護師、訪問看護師、リハビリセラピスト、ケアマネジャーなどで様々な情報交換をしました。

■ がん相談支援センター

緩和ケア認定看護師 がん相談員 山内 佳恵

当院は地域がん診療連携拠点病院に指定されており、第4期がん対策推進基本計画の全体目標として「誰一人取り残さないがん対策を推進し、すべての国民とがんの克服を目指す」と掲げており、がん相談支援では「がんとの共生」をテーマに様々な取り組み目標があげられています。相談支援と情報提供、社会連携に基づく緩和ケア等のがん対策・患者支援、がん患者等の社会的な問題への対策(サバイバーシップ支援)、ライフステージに応じた療養環境への支援をしていく必要があります。そのため当院でも国立がん研究センターのがん相談員基礎研修を修了した看護師や医療ソーシャルワーカーが配置され、患者さん・ご家族の、がんの治療や療養生活全般の心配や困りごとに対応しています。院内・院外を問わず、どなたでも相談でき、プライバシーへの配慮をしながら相談を行っています。相談は無料で、当院の他にも宮城県内にはがん相談支援センター・がん相談窓口のある医療機関は24施設、宮城県がん総合支援センター(病院以外の窓口)があります。

がん相談支援センターではがんの予防や検診、がん検査・治療・治療による副作用や経済的な問題や各種支援制度、療養生活の過ごし方、医療者とのコミュニケーション、病気を抱える患者と家族との関わり、患者さんやご家族の心のこと、社会との関わり(仕事・学業)、セカンドオピニオンを受けたい、緩和ケアについてなどの相談をすることができます。

がんと診断され、これからどうしたらいいかと不安を抱えている患者さん、ご家族に寄り添い、少しでも力になれるよう日々相談業務を行っていますのでお気軽に声をかけていただければと思います。

また、当院には患者会「四つ葉の会」があり、年齢や性別は問わず、当院に通院している患者さん、ご家族を対象に現在は対面で月1回開催しています。

地域との連携も積極的に行っており、地域包括支援センターや地域の医療機関、介護施設、訪問看護ステーション、往診クリニックなどの様々なリソースとの連携も行っていますので、患者さん、ご家族の希望に沿う形で少しでも住み慣れた環境で生活できるようお手伝いしていきたいと思っています。



クラウドファンディングのご報告

副院長 クラウドファンディングチームリーダー 千葉 靖

東北労災病院では、患者さんに「がまん」を強いる環境を一刻も早く変えたいという願いを実現するべく、院内に68床残る手動式ベッドのうち、まず手始めに20床を電動ベッドに更新するため、募集目標額1,200万円のクラウドファンディングに挑戦しました。10月16日～11月30日という短い期間ではありましたが、333名の方々から総額14,661,000円と目標額を大きく上回るご寄付をいただき、プロジェクトを無事に達成することができました。

ご声援ご支援いただいた皆様お一人おひとりにこの場を借りて心よりお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

プロジェクトチームを立ち上げ、1,200万円という募集目標を掲げてみたものの、全国に32ある労災病院において初のクラウドファンディングの試みということで、初心者揃いの私たちには、どのようにしたらこの切実な願いを多くの方々にお伝えすることができるのか、まるで先が見えない不安な状況でのスタートとなりました。

しかし、いざ始まってみると当院と連携いただいている皆様を始め、本当にさまざまな面から温かい応援メッセージとともにご支援が次々と届き、私たちは実は日頃からたくさんの方々から見守られながら過ごしているのだな、ということが図らずも目に見える形となり、人と人のつながりのすばらしさにじんわりと心が温くなるのを感じました。

今後は、患者さんにとって安心で快適な入院環境が実現されるよう、さらに病院スタッフの負担が軽減されるよう、一日も早く電動ベッド購入の手続きを進めて行く予定です。

今回のクラウドファンディングで得た経験はかけがえのないものであり、これを皆様との連携の新たなスタートと考え、少しでも皆様のお役に立てるよう一層努めて参る所存ですので、引き続き東北労災病院をよろしくお願い申し上げます。



地域医療連携センターから

人事異動のお知らせ

採用		
令和5年10月1日付	麻酔科	周 穎哲
令和5年11月1日付	糖尿病・代謝内科	金子 礼

月別紹介患者数

	紹介患者数(人)	逆紹介患者数(人)
令和5年9月	833	953
令和5年10月	975	1,007
令和5年11月	913	845

東北労災病院 外来診療担当表 (令和6年1月1日)

科/部門			曜 日	月 曜 日	火 曜 日	水 曜 日	木 曜 日	金 曜 日	特殊外来・各種教室等		
総合診療科				小 山 二 郎	小 山 二 郎	小 山 二 郎	小 山 二 郎	小 山 二 郎	完全予約制		
内 科	消化器内科	胃腸内科		白 木 学	齋 藤 紘 樹	小 島 康 弘	大矢内 幹	小 島 康 弘			
				齋 藤 晃 弘	今 成 賢士郎	大矢内/近 藤	白 木 学	近 藤 稜			
				渡 部 康 也	伊 藤 圭 祐	半 田 朋 子		佐 藤 拓			
		内視鏡	上部	大矢内/近藤/半田	大矢内/近藤/半田	大矢内/近藤	山川/近藤/半田/大原(秀) 【第3週のみ】	大矢内 幹			
			下部	小 島 康 弘	小 島/白 木	白 木 学	小 島 康 弘	白 木/半 田			
		肝臓科		小 林 智 夫	田 中 裕	山 川 暢	小 林 智 夫	田 中 裕			
				山 川 暢		阿 部 直 司		河 野 雄 一			
	腫瘍内科			森 川 直 人		佐 藤 悠 子	森 川 直 人	森 川 直 人	院外新患は毎週月・木・金の 午後(予約制)		
	緩和ケア内科			珠蘭 其格11:00～12:00	小笠原 鉄郎9:00～12:00	小笠原 鉄郎11:00～12:00	珠蘭 其格9:00～12:00	小笠原 鉄郎11:00～12:00			
	糖尿 病 科			鍋田 藍(登録医新患)	鍋田 藍(登録医新患)	中村 麻里(登録医新患)	鍋田 藍(登録医新患)	鍋田 藍(登録医新患)			
	代 謝 内 科			鈴木(令)/亀井/金子 [*] 【再来】	鍋田/中村/鈴木(令)/亀井【再来】	鍋田/鈴木(令)/亀井【再来】	鍋田/中村/鈴木(令)/亀井【再来】	中村/鈴木(令)/亀井【再来】			
	循 環 器 内 科			田中 光昭(新患)	高 橋 貴久代	宇塚 裕紀(新患)	田中 光昭(新患)	東北大学医師(新患)			
				高橋 貴久代(再来)		田中 光昭(再来)	宇塚 裕紀(再来)	高橋 貴久代(再来)			
	高 血 圧 内 科			金 野 敏	宗 像 正 徳	金 野 敏	宗 像 正 徳	金 野 敏			
	腎 臓 内 科				神 田 学		神 田 学	神 田 学	木曜日は院外新患のみ完全予約制		
	呼吸器内科			三 浦 元 彦	榊 原 智 博	田 代 祐 介	三 浦 元 彦	榊 原 智 博	喘息外来 (予約制)	月	14:00～ 15:00
				田 代 祐 介	大 塚 竜 也	中 村 優	中 村 優	大 塚 竜 也	重症喘息外来 (予約制)	木	14:00～ 15:00
				鳴 海 茜	谷 津 年 保	阿 部 武 士	谷 津 年 保	阿 部 武 士	禁煙外来 (完全予約制)	火	14:00～ 16:00
呼 吸 器 外 科			保 坂 智 子				保 坂 智 子				
心 療 内 科			町 田 貴 胤	町 田 貴 胤	町 田 貴 胤	町 田 貴 胤	町 田 貴 胤	新患は火・水曜日のみ完全予約制			
			町 田 知 美	町 田 知 美	町 田 知 美	町 田 知 美	町 田 知 美				
			千 葉 靖	千 葉 靖	高 柳 玲 子	高 柳 玲 子	千 葉 靖				
小 児 科			高 柳 玲 子	沼 田 美 香	沼 田 美 香	※及 川 智 子	沼 田 美 香	午後診(すべて予約制)乳児健診 (及 川):月・木曜13:00～ 予防接種:火・木曜14:00～ 腎臓外来(千葉靖):木曜14:00～			
			及 川 智 子								
外 科	消化器外科			成 島 陽 一	消化器外科担当医(新患のみ)	松 村 直 樹	徳 村 弘 実	野 村 良 平	ヘルニア外来:月・火・木・金 胆 石 外 来:月・火・木・金 胃 外 科:金(受付14時まで) 大 腸 外 科:水 ストーマ外来:火曜午後予約制		
	大腸肛門外科				高 橋 賢 一	佐 藤 馨	野 村 良 平	本 山 一 夫			
					羽根田 祥						
乳 腺 外 科			本 多 博			千年 大勝(第1週)	(午前)本多 博	午後新患のみ予約制			
				本多 博(午後新患のみ)		吉田 清香(第2週以降)	(午後)千年 大勝				
整形外科	関 節			井樋 栄二(午前のみ)	小 河 裕 明	小 河 裕 明	小 河 裕 明	井樋 栄二(10:00まで)			
			千 葉 大 介	奥 野 洋 史	千 葉 大 介	千 葉 大介(午前のみ)	奥 野 洋 史				
			奥野 洋史(午前のみ)	品川 清嗣(午前のみ)	國 井 知 典	國井 知典(午前のみ)	品 川 清 嗣				
			國井 知典(午前のみ)	小林 史怜(午前のみ)	正岡 隼(午前のみ)	佐藤 佳衣(午前のみ)	信田 進吾(午前のみ)				
			品川 清嗣(午前のみ)	三浦 慎次郎(午後のみ)	信田進吾(午前のみ)						
			信田 進吾(午前のみ)								
	脊 椎				日下部 隆		日下部 隆	※①日下部 隆	※①日下部隆 第2・4金曜 午後不在 ※②松谷重恒 第1・3金曜 午後不在		
脳神経外科					松 谷 重 恒		松 谷 重 恒	※②松谷 重恒			
脳 神 經 外 科			高 橋 智 子	高 橋 智 子	高 橋 智 子	高 橋 智 子	高 橋 智 子	完全予約制			
皮 膚 科			谷 田 宗 男	瀬 川 優里恵	谷 田 宗 男	瀬 川 優里恵	谷 田 宗 男				
泌 尿 器 科			櫻田 祐(新患)	島谷 蘭子(新患)	島谷 蘭子(新患)	荒川 洋介(新患)	荒川 洋介(新患)	外来新患完全予約制			
			阿 部 優 子	荒 川 洋 介	阿 部 優 子	櫻 田 祐	阿 部 優 子				
産 婦 人 科			阿 部 祐 也	—	東北大学医師	阿 部 祐 也		月・水・木曜日の午前のみ完全予約制			
眼 科			植 松 恵	植 松 恵	植 松 恵	植 松 恵	植 松 恵	月・火・木曜日手術日(受付10時まで)			
			武 田 瑠 子	武 田 瑠 子	武 田 瑠 子	武 田 瑠 子	武田 瑠子(午前のみ)				
						東北大学医師(午前のみ)					月・水・金曜日午後検査(予約制)
耳 鼻 咽 喉 科			渡 邊 健 一	渡 邊 健 一	渡 邊 健 一	渡 邊 健 一	渡 邊 健 一	手術日月・水・金 再来予約制 舌下免疫療法:木曜午後 (完全予約制)			
			織 田 潔	織 田 潔	織 田 潔	織 田 潔	織 田 潔				
			清 水 佑 一	清 水 佑 一	清 水 佑 一	清 水 佑 一	清 水 佑 一				
			齋 藤 雄太郎	齋 藤 雄太郎	齋 藤 雄太郎	齋 藤 雄太郎	齋 藤 雄太郎				
			佐 藤 悠 歩	佐 藤 悠 歩	佐 藤 悠 歩	佐 藤 悠 歩	佐 藤 悠 歩				
						東北大学医師(午前のみ)					大 山 健 二
リ ハ ビ リ 科			安 達 理	原 田 卓	※東北大学医師(第5を除く)	安 達 理	原 田 卓	外来院内紹介は午前のみ			
				心リハ外来	心リハ外来						
放 射 線 治 療 科			田 邊 隆 哉	田邊 隆哉(新患)	田 邊 隆 哉	田 邊 隆 哉	田邊 隆哉(新患)	完全予約制			
リ ウ マ チ 科			加 藤 一 郎	加藤 一郎(新患)	加 藤 一 郎	畠 山 明	加 藤 一 郎	完全予約制(院内・院外)			
				永 井 泰 地	永 井 泰 地(新患)	永 井 泰 地	永 井 泰 地				
				畠 山 明							
歯 科			永 井 浩 美	永 井 浩 美	永 井 浩 美	永 井 浩 美	永 井 浩 美	完全予約制			
			塚 田 甲	塚 田 甲	塚 田 甲	塚 田 甲	塚 田 甲				
が ん 看 護 外 来			濱 中 直 美 (がん化学療法)	穴 戸 理 恵 (乳がん)	板 谷 越恵子 (がん化学療法)	山 内 佳 恵 (緩和ケア)	伊 藤 一 美 (がん性疼痛)	完全予約制()は担当看護師認定領域 ※予約枠:午後のみ(13時～16時)、 午前:山内佳恵(緩和ケア) オンコール対応(不在時は午後枠担当者へ)			



独立行政法人 労働者健康安全機構 **東北労災病院**

〒981-8563 宮城県仙台市青葉区台原4-3-21

受付時間 8:15～11:00

代表電話 022-275-1111 代表FAX(総務課) 022-275-4431

地域医療連携センター

電話 022-275-1467 専用FAX 0120-772-061